

柱 I	健康長寿	主な取組みと成果	評価
	1 未病	未病を治す取組みを支える社会環境の整備 心身の活力が低下した状態で介護に至る要因となる「フレイル(虚弱)」対策プログラムの展開、未病改善の普及を行う「未病サポーター」研修を実施	 概ね順調
		未病を治すために重要な、食、運動、社会参加など生活習慣改善の支援 かながわ女性の健康・未病Week(3月1日～8日)におけるイベント実施、高校における未病学習出前事業などの実施	
		健康情報の活用による効果的な施策の推進 マイME-BYOカルテの普及拡大、CHO(健康管理最高責任者)構想に取り組む事業所の登録	
	2 医療	最先端医療の推進 「かながわ再生・細胞医療産業化ネットワーク」によるセミナー開催、マイME-BYOカルテと連携した電子母子手帳の運用	 概ね順調
		県民への適切な医療提供体制の整備・充実 依存症患者に平日深夜に対応できる医療機関の整備、小・中学校や高等学校における「がん教育」のモデル事業を実施	
		医療人材の育成・確保 神奈川県ナースセンターで無料職業紹介や復職支援研修を実施、平塚看護大学校(旧平塚看護専門学校)を4年制に改編	
	3 高齢者福祉	地域包括ケアシステムの構築 地域支え合いフォーラムの開催、介護ロボットを体験してもらう「ロボット体験キャラバン」の実施	 概ね順調
		認知症の人や家族などに対する総合的な支援 認知症サポート医の養成、若年性認知症支援コーディネーターの配置	
		健康・生きがいづくり コグニサイズなど認知症予防がテーマの教室の開催、「人生100歳時代の設計図」に関するフォーラムやワークショップの開催	
	4 障がい者福祉	福祉サービスの充実・社会環境の整備 津久井やまゆり園で発生した事件を受けた障害福祉施設等の危機管理に関する講習会の実施、県管理道路や県立都市公園などのバリアフリー化の推進	 概ね順調
		社会参加や就労の支援 障がい者スポーツサポーターの養成、発達障害者支援センターにおける発達障がい者の就労支援の実施	
		障がい者に対する理解促進と権利擁護 「ともに生きる社会かながわ憲章」の普及啓発、共生の理念を広めるイベント「みんなあつまれ」の開催	
柱 II	経済のエンジン	主な取組みと成果	評価
	5 エネルギー	再生可能エネルギー等の導入加速化 自家消費型太陽光発電等の導入支援、地域経済の活性化に資する再生可能エネルギー発電事業への支援	 概ね順調
		安定した分散型電源の導入拡大 燃料電池自動車の導入費用や水素ステーションの整備費用への支援	
		省エネルギーの促進とスマートコミュニティの形成 環境・エネルギー学校派遣事業の実施、中小規模事業所等への省エネ診断の実施	